

腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術を受けられる患者様へ

＜予定入院期間 5日間＞ 1枚目(全1枚)

日数	入院日 手術前日	手術当日		術後1日目	術後2日目	術後3～退院まで
		手術前	手術後			
治療・処置	臍をきれいにします。静脈血栓予防の靴下のサイズを測定します。		酸素マスク、心電図モニター・フットポンプを装着します。	毎朝、医師の回診時、手術創の状態を確認し、必要時消毒をします。 朝、心電図モニター・フットポンプをはずします。		 医師の許可にて退院になります。
薬・点滴		9時頃から点滴を始めます。 基本的に朝から内服は中止ですが、必要のある薬がある場合はお知らせします。	手術後、痛みが強い場合は痛み止めを使用します。 夜間、眠れるように環境調整をします。必要時、薬剤検討します。	食事開始まで点滴がありません。 痛み止めの内服が開始になります。		
検査	必要に応じて検査があります。	朝に採血を行います。				
安静度	制限はありません。	手術室へ行く前に排尿を済ませておいてください。手術室に行く時間になりましたら声をお掛けします。看護師と一緒に手術室まで歩いて入室します。 	手術後はベッド上安静になります。寝返りはできません。	朝より歩行可能です。初回は看護師が付添います。	制限はありません。 	
食事	21時以降は禁食です。  21時以降でも水やお茶は飲めます。	禁食です。 飲水に関しては、医師より指示があります。	食事はできません。うがいはできます。問題なければ4時間後より飲水できます。	朝から食事が始まります。		
清潔	入浴もしくはシャワーを浴びてください。 	看護師が声を掛けたら朝、シャワーを浴びてください。その後手術着、静脈血栓予防の靴下とT字帯を着用してください。		温タオルで体を拭き、手術着からパジャマに着替えてください。 	手術創の状態によりシャワーを浴びられます。 	
排泄		手術室入室前にトイレを済ませてください。	手術中より尿を出す管が入っています。 	朝、尿の管を抜きます。その後は歩いてトイレに行ってください。抜いて初めての排尿は、測定しますので看護師に声かけしてください。		
説明	入院や手術に関して主治医、麻酔科医、手術室看護師・病棟担当看護師からパンフレット使用しながら説明があります。	貴重品の管理は、セーフティーボックスをご利用ください。				退院後の注意点について説明があります。
その他	持参されたお薬の内容や残数を確認します。ネームバンドをつけさせていただきます。	手術室入室前に義歯、コンタクトレンズ、ウィッグ、アクセサリーをはずしておいてください。				

・退院後は便がゆるくなりがちです。油の多い食事は多くとらないようにしてください。